

平成27年 4月 10日

浜田市議会議長

様

議員名

岡野克俊



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成27年 3月26日(木) 13:30 ~ 16:30
" 27年 3月27日(金) 9:30 ~ 11:30
2. 研修内容 二元代表制を機能させたための
議員カレッジ講座
・市役所の意思決定
・教育委員会制度の概要
3. 研修先 ｽｯﾄﾋﾞｼﾞﾈｽｾﾝﾀｰ- 東 京 駅
4. 調査経費 73,560 円
(経費内訳 交通費 40,080 宿泊費 3,480 研修参加料 30,000)
5. 調査研究活動の概要

(別紙)



二元代表制を 機能させるための 議員力アップ講座 in 東京



3月25日
(水)

13:30~16:30
市役所を動かす
質問の仕方

- ・執行部として受けた良い質問と悪い質問
- ・数字をつけろ。財源を示せ。テーマは続けろ。
- ・一般質問と政策実現の関係
- ・質問のための資料集めの手法
- ・議会が機関としての政策的意思を!

3月26日
(木)

9:30~11:30
二元代表制下の
議会と首長

- ・首長と議会の関係
- ・地方議会に何が求められているか
- ・執行部から見た議会・議員の見え方
- ・人口減少時代に求められる議会の在り方

13:30~16:30
市役所の意思決定

- ・合併と地方分権の時代の役所とは
- ・決められない体質~見回し、根回し、後回し~
- ・三遊間のゴロは取るな!
- ・半分以上は「調整」仕事
- ・地方議員として役所とどうかわるか

3月27日
(金)

9:30~11:30
教育委員会制度
の概要

- ・市長部局と教育委員会
- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律
- ・総合教育会議と新教育長
- ・地方教育行政の今後
- ・議員が抑えるべき教育行政の課題

講師紹介

かわもと たつし
川本 達志
元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所上級コンサルタント。2014年4月に独立。

報告書概要

岡野 克俊

◆日時 平成 27 年 3 月 26 日 13 時 30 分～16 時 30 分

・講師 自治体経営コンサルタント 川本 達志

・内容 市役所の意思決定

1, 合併と地方分権について

2, 役所の組織と運営について

3, 決められない体質について

・感想

・地方自治法の主旨の重要性や行政行為の公定力の持つ意味の重さを再認識した。また、行政のパラダイム変化に対応せずに、「決定の先送り」はリスクを拡大する点に気付かされた。

◆日時 平成 27 年 3 月 27 日 9 時 30 分～11 時 30 分

・講師 同上

・内容 教育委員会制度の概要

1, 首長部局と教育委員会について

2, 文部科学省の統制体質について

3, 大阪府教育行政基本条例について

4, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律について

5, 首長の教育委員会への影響力について

6, 教育行政の問題の本質について

・感想

- ・法律の主旨や改正点については理解が深まった。全体を通してわかりやすかったが、講師が教育行政経験者でない点もあったせいか、もっと専門的なお話を聞きたかった。